## 最新技術

農業では生産性の向上や作業の効率化 などが大きな課題であり、いつの時代も それらを改善するために研究が進められ

てきた。新年号では東海4県が進める最 新の研究や成果、現場への普及に対する 取り組みを紹介する。

> すのは、富士宮市にある静 解消の一助となれば」と話 短縮を実現し、後継者不足

## 呼吸の変化を検知する 検証。床に設置したシート状の体圧センサーで、 ホルスタインで分娩の兆候を検知するシステムを

待されている。

研究を行った企業を中心 ったという。今後は、共同

に、製品化されることが期

の成果が酪農家の労働時間 【静岡支局】「この研究 静岡県畜産技術研究所

シートで乳牛の分娩兆候を感知

ーで、乳牛の陣痛時におけ 岡県畜産技術研究所の小熊 いたシート状の体圧センサ 亜津子上席研究員。床に敷

る呼吸の変化を検知するシ

## 監視が30分に短縮 精度は95%超

確率で検知できるようにな

予定で、現在は55%以上の

20年度で研究開発は終了

開発を行っており、17年に から企業などと共同で研究

は特許を出願している。

牛に負担をかけない方法を る方法。より精度が高く、 との違いから分娩を検知す 体温の変化を観察し、平時 ているのは、牛の行動量や

現在、一般的に用いられ

確立するため、2015年

システムの普及で、夜間に ている。この研究で30分に の監視が平均3時間かかっ 娩事故の減少を目指す。 おける過重労働の解消や分 短縮できる」という。この 「分娩時には、1頭当たり 小熊上席研究員によると ステムを研究開発してい

者はリアルタイム映像で状 と、メールで通知し、受信 況の確認が可能だ。 分娩の兆候を検知する